

# Minami Kyushu University Syllabus

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	教科教育法（英語）					授業形態	講義		
科目コード	750177	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	横堀 仁志							ICT活 用	○
授業概要	<p>本講義の目的は、小学校における外国語活動(中学年)・外国語(高学年)の学習、指導、評価に関する基本的な知識 や指導技術を身に付けることにある。そのためにまず主要な外国語教授法を学修し、子どもの言語習得に関する理解を深め、さらにそれらの教授法を小学校の英語活動・英語学習に効果的に適用する方法・技術について研究する。授業は、学習者の主体性や創意を重視し、適宜模擬授業を採り入れながら進めていく。</p>								
関連する科目	<p>本科目の履修前、もしくは同時期にスキル科目である英語コミュニケーション、英語A、英語Bを受講することが望ましい。履修後は、専門教育科目である 英語を履修することが望ましい。</p>								
授業の方法と進め方	<p>この授業は児童の英語学習への意欲を高める指導を目指しており、学生自身の主体性・創意を生かすことを追求する。そのために、小学校での英語指導法の基礎知識とその基本技術の習得のために、学生自身の創意工夫やグループ内でのディスカッションを重視すると共に、マイクロ・ティーチングを実践する。</p>								
授業計画【第1回】	1. 教科教育法(英語)の概要：学修指導要領・他教科や中学校英語との連携などについて学ぶ								
授業計画【第2回】	2. 第二言語の習得に関する基礎理論について学ぶ								
授業計画【第3回】	3. MT（マイクロ・ティーチング）：全身反応教授法（TPR）及びナチュラル・アプローチについて学ぶ								
授業計画【第4回】	4. 英語の音声とフォニックス（教科書：第13章-1）								
授業計画【第5回】	5. MT：コミュニケーション・ランゲージ・ティーチング（CLT）：マイクロティーチングの準備をする								
授業計画【第6回】	6. コミュニカティブ・ランゲージ・ティーチング（CLT）：マイクロティーチングを実践する①								
授業計画【第7回】	7. コミュニカティブ・ランゲージ・ティーチング（CLT）：マイクロティーチングを実践する②								
授業計画【第8回】	8. 英語の授業における歌の活用方法について学ぶ								
授業計画【第9回】	9. 英語の授業における映画の活用方法について学ぶ								
授業計画【第10回】	10. オーラル・インタープリテーションの技法について学ぶ								
授業計画【第11回】	11. 教科書の効果的な使用方法について学ぶ（教科書：第11章-1&2）								

授業計画 【第12回】	12. ICT及び電子教科書の効果的な活用方法について学ぶ
授業計画 【第13回】	13. ALTを活用したチーム・ティーチング について学ぶ
授業計画 【第14回】	14. 学習指導案の作成方法について学ぶ
授業計画 【第15回】	15. 評価と評価方法について学ぶ（教科書：第5章）
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校における外国語活動(中学年)・外国語(高学年)の学習、指導、評価に関する基本的な知識 や指導技術を身につけている。</li> <li>・主要な外国語教授法、子どもの言語習得、英語の音声とその指導方法に関する基礎知識を身につけている。</li> <li>・学習指導案に関する基礎的な知識を身につけている。</li> </ul>
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学習 【予習】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の、次回の授業で扱う部分を読み、疑問点がある場合は自分なりに調べ学習を行う。</li> <li>・マイクロ・ティーチングの準備及び練習を行う。 (毎週、1時間程度の学習時間を想定)</li> </ul>
授業時間外の学習 【復習】	授業で学習したことを振り返り、疑問点がないかどうかを確認する。 疑問点等がある場合は、次回の授業で担当教員に質問し、疑問を解決する。
課題に対する フィードバック	マイクロ・ティーチングのパフォーマンスに関して授業中にフィードバックする。
評価方法・基準	授業への参加度 (20%) 期末試験 (80%)
テキスト	「小学校英語科教育法―理論と実践―」金森強 編著 成美堂
参考書	「小学校学習指導要領」「小学校学習指導要領解説 外国語活動」